概要版 景況リポート

尼崎市事業所景況調査 2026（令和 8）年 7-9 月期

＊調査の詳細は、ホームページをご覧ください。

アイル　景況調査

業況判断 DI は、全産業、製造業、非製造業とも改善。

◆**製造業 規模別の業況**　：大企業は大幅な改善、中小企業は改善

◆**非製造業 業種別の業況**：建設業、卸売業は大幅な改善、小売業、サービス業は改善

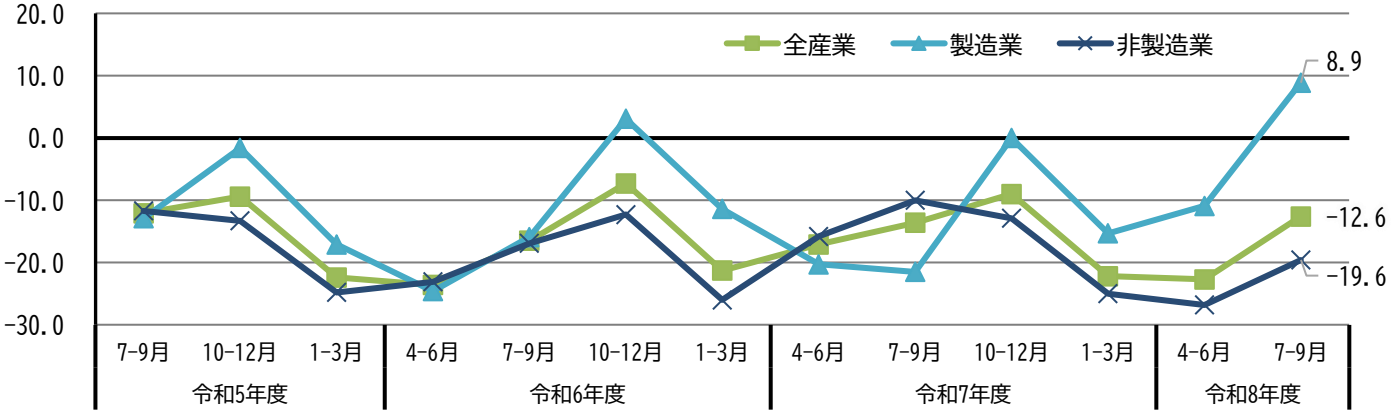
◆**（原材料）仕入価格**：製造業、非製造業とも低下するも、DI は約 60～90 ポイントと高水準

◆**外国人材の雇用**　：外国人材を雇用する事業所は 17.6%。特に製造業で 34.0%。

◆業況判断（前期比）注（　）内は前回調査との差を示します。

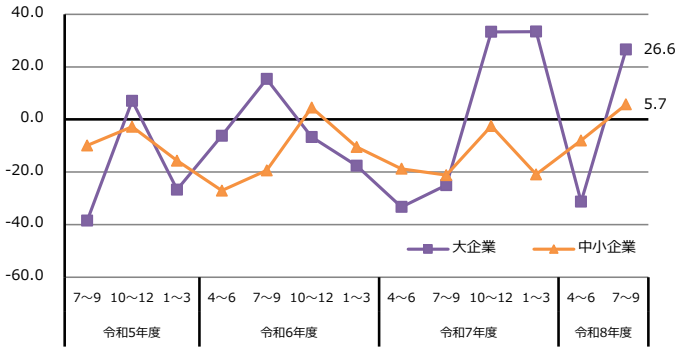
<全体>

業況判断 DI は、▲12.6（+10.1）で改善しました。業種別では、製造業は 8.9（+19.8）で改善、【非製造業】は▲19.6（+7.2）で改善しました。



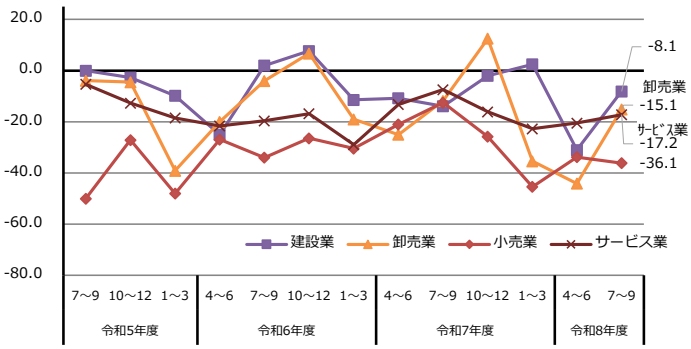
<製造業（規模別）>

大企業は 26.6（+57.9）で大幅な改善、中小企業は 5.7（+13.7）で改善しました。



<非製造業（業種別）>

建設業は▲8.1（+22.9）、卸売業は▲15.1（+29.0）でともに大幅に改善しました。小売業は▲36.1（-2.3）で悪化、サービス業は▲17.2（+3.3）で改善しました。



DI とは

景気動向指数「ﾃﾞｨﾌｭｰｼﾞｮﾝ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ（Diffusion Index）」の略。「好転」(または「上昇」「増加」「過剰」)と回答した企業の比率から「悪化」（または「下降」「低下」「不足」）と回答した企業の比率を差し引いたもので、業況の方向感を測るための指標です

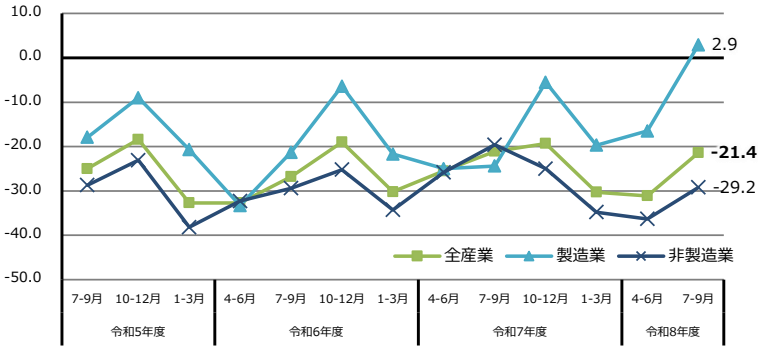
◆業界天気図

業種 / 項目	全産業	製造業			非製造業				
		全体	大企業	中小企業	全体	建設業	卸売業	小売業	サービス業
今回業況判断DI値									
前回との差	↗	↗	↑	↗	↗	↑	↑	→	→

◆収益（前期比）

・収益 DI は、全産業で▲21.4（+9.7）と、改善しました。

・製造業は 2.9（+19.4）、非製造業は▲29.2（+7.1）で、ともに改善しました。

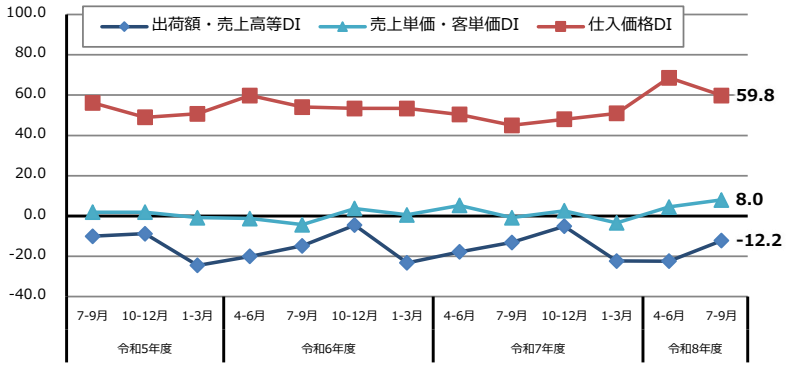


◆売上高、売上単価・仕入価格（前期比）

・全産業の出荷額･売上高･完成工事高 DI は▲12.2（＋10.2）で改善しました。

・売上単価･客単価 DI は 8.5（＋3.5）と上昇しました。

・（原材料）仕入価格 DI は、59.8（-8.8）と低下しましたが､仕入価格が上昇したと回答した事業所が、約 6 割を占めている状況です。

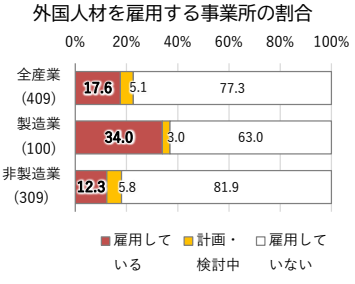


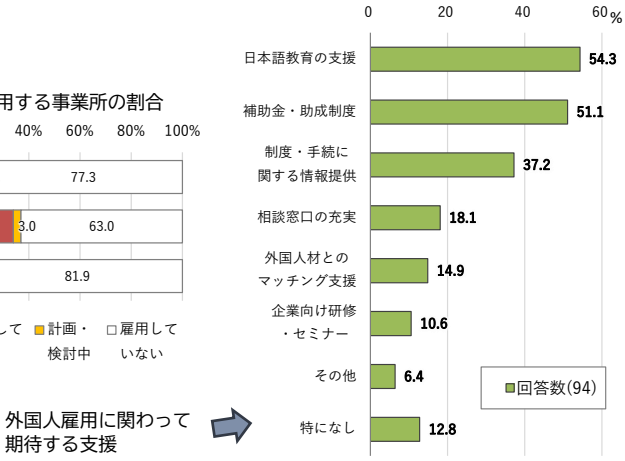
◆外国人材雇用の状況

・外国人材を雇用する事業所は 17.6%、今は雇用していないが計画中･検討中は 5.1%でした。

・業種別にみると、雇用する事業所は製造業で 34.0%、非製造業で 12.3%でした。

・外国人材を雇用する、及び、計画中・検討中の事業所が、その雇用に関して期待する支援は「日本語教育の支援」が 54.3%で 1 位でした。





外国人雇用に関わって期待する支援

<本資料の問い合わせ先>

■尼崎市　経済環境局経済部　イノベーション推進担当　担当：南條・織田　連絡先：06-6489-6675

■（公財）尼崎地域産業活性化機構　事業課　調査担当　担当：宮崎・名井　連絡先：06-6488-9565

https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html